

会 議 録

1 会議名

第8回浦川原区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○報告（公開）

(1)会長報告

(2)委員報告

- ・中学生との意見交換会における現地学習の実施結果について

(3)市からの報告

- ・新市建設計画の変更について
- ・令和4年度冬期道路交通確保除雪計画について
- ・3区中学校統合の進捗状況について
- ・浦川原区町内会長連絡協議会情報交換会において配付した資料について

○協議（公開）

(1)自主的審議事項の検討について

(2)「地域活性化の方向性」の検討について

○その他（公開）

3 開催日時

令和4年11月29日（火）午後6時30分から8時03分まで

4 開催場所

浦川原コミュニティプラザ 市民活動室4・5

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員：赤川義男、池田幸博副会長、北澤誠、五井野利一、杉田和久、藤田宏禎会長、宮川勇、村松進副会長
- ・事務局：浦川原区総合事務所佐藤所長、大橋次長、竹田次長、産業グループ山本グループ長、滝澤主幹、建設グループ大島グループ長、市民生活・福祉グループ石川グ

8 発言の内容

【藤田会長】

- ・会議の開会を宣言。
- ・出席者は8人。欠席者は相澤委員、小野委員、春日委員、北澤正彦委員。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上が出席しているので、会議が成立する旨を報告。
- ・会議録の確認：宮川勇委員に依頼。

【藤田会長】

それでは、「2 報告」に入る。「(1) 会長報告」として2件報告させていただく。

はじめに、10月20日に開催した第7回地域協議会は、「出張地域協議会」として中猪子田集会所を会場に開催し、会議終了後、地域の皆さんと意見交換を行った。

中保倉地区は6つの町内会があるが、参加があったのは中猪子田と下猪子田、小蒲生田町内会の5人で、他の町内会から参加がなかったことが、非常に残念に感じている。

意見交換の中で、中猪子田町内会の方から地域協議会に対して、町内会への支援に対する感謝の言葉をいただいた。これは、過去に中猪子田地内の団体が、地域活動支援事業を活用してふるさと公園観桜会の開催に必要な備品を整備したほか、公園にモミジを植樹した経緯があり、そのことに対するお礼であった。

地域協議会からは、春日委員の「仲間の絆を深めるために行っていることはあるか」、「カルチャー講座等に男性が参加しやすくするにはどうすればよいか」という質問に、中猪子田町内会の方から「残念ながら、今年婦人会を解散することになったが、老人会では女性も含めて12・13人が集まって楽しく活動しているほか、猪子田郵便局の一角を借りて作品展示を行うなど、町内の住民の活動の場がいくつかある」という話があった。このほか、相澤委員から鳥獣被害に対する質問があった。

地域の方からは、市道の草刈りの話があり、行政と協議していただくことになった。

次に、11月8日火曜日の午後2時から開催した、浦川原区地域協議会委員研修会について報告する。「地域自治推進プロジェクト」について、自治・地域振興課の佐藤参事から、これまでにいただいた資料や市議会に提出された資料に基づき説明を受けた。質疑応答において、私個人の意見として、「いろいろな事業を進めていこうとした時に、行政として対応するための整理ができていないのではないかと考えている。また、議会と行政とのすり合わせができていないのではないかと考えている。地域協議会においても、行政側とのすり合わせができてい

ない部分があり、非常に無駄が多いのではないかと常々思っている」と発言させていただいた。これに対して、踏み込んだ形での回答が示されなかったことは残念であった。

他の委員からは、20年先の予算についての意見も出ていた。直近の資金をどうしていくのかという討議も必要だと思うが、その辺りについての糸口が見えなかった。

研修会の在り方についての反省として、こちらが何を望むのかをきちんと申し上げていかなければならないと思っている。

以上2件の報告について、質問や意見があればお願いします。

質問がなければ、「(2) 委員報告」として、「中学生との意見交換会における現地学習の実施結果について」村松副会長から報告いただく。

【村松副会長】

11月8日火曜日の午前8時30分から午後0時30分まで、浦川原中学校1年生13人と地域協議会委員9人が参加し、「飯室神楽」、「月影雅楽」、「保倉川太鼓」の3か所を回り、団体からの説明を聞いた後、実際に楽器等を手にとり体験を行った。

その後、11月22日火曜日に、中学校の6時間目の授業で、実行委員のみが参加し、今後どのように進めていくか協議してきたところである。

団体からお話を伺った中で、一番の課題は、どの団体も後継者不足であった。「この問題をどうすれば解消できるのか。もう少し深掘りした方が良いのではないか」とアドバイスさせていただいた。

今後、12月20日火曜日に、「中学生がまとめた成果を発表したい」と中学校から依頼があった。時間は未定だが、おそらく午後からになると思う。詳しい内容が決まり次第、皆さんにお知らせするので、よろしくお願ひしたい。

【藤田会長】

皆さんのスケジュール調整をお願いします。今ほどの報告について、質問や意見があればお願いします。

質問がなければ、続いて「(3) 市からの報告」に移る。「新市建設計画の変更について」事務局から説明をお願いします。

【大橋次長】

(資料1に沿って説明)

【藤田会長】

今ほどの説明について、質問や意見があればお願いします。

質問がなければ、続いて「令和4年度冬期道路交通確保除雪計画について」、建設グループ

から説明をお願いします。

【建設グループ大島グループ長】

(資料2・別冊資料に沿って説明)

【藤田会長】

今ほどの説明について、質問や意見があればお願いします。

【北澤誠委員】

除雪に対する支援制度について、小型除雪機購入費の補助または一般コミュニティ助成事業は、浦川原区で申請があったのかお聞きしたい。

【建設グループ大島グループ長】

浦川原区では、両方とも申請はなかった。

【北澤誠委員】

了解した。要望として、資料には市道除雪について記載があるが、県道や国道の除雪体制との連携についてもよろしくお聞きしたい。

【村松副会長】

資料の「車道除雪路線区分表」において、我々が利用する生活道路は「3種路線」に該当すると思われ、優先順位は5番となっており、通常時の除雪目標は「車1台分の幅員確保を原則とする」とある。異常降雪時も同様に車1台分の幅員確保を原則としながら、「一時通行不能になる場合がある」と記載されているが、除雪業者によって温度差があると思うので、業者間で差が出ないようにお聞きしたい。

もう一点、「除雪出動判断基準表」について、3種路線の早朝除雪は、午前3時頃に除雪に来て、大雪の場合は午前7時頃の通勤時までには30cm以上積もってしまうことがある。また、日中除雪と夜間除雪の出動基準は「15cm以上の積雪量または本部が必要と判断した場合」とあるが、これはどのように判断されるのか。

【建設グループ大島グループ長】

本部に降雪の情報が入り、現地を確認して出動が必要であると判断した場合、業者に除雪の指示を出すこととなる。

【村松副会長】

この判断基準を徹底していただきたい。大雪の場合、業者も大変だと思うが、15cm以上で速やかに出動していただくように徹底していただきたい。また、夜間も同様で、夜勤の方がいるので、私が町内会長の時に「出勤できない」という苦情を受けたことがあり、このような事がないようにしていただきたい。

【竹田次長】

春先に、除雪業者にヒアリングと意見交換を行い、地域からの要望をお話しさせていただいたので、業者によって差が出ないようにしていきたいと考えている。また、早朝除雪について、基本的に午前7時までは10cm以上で出動することになっており、除雪後も10cm以上積もるようであれば、業者から引き続き除雪を行っていただく。ただ、午前7時頃から通勤ラッシュとなるため、除雪作業が通勤ラッシュと重ならないように日中除雪で行う場合もあるので、ご理解いただきたい。

【藤田会長】

私から、事業者が考えることだと思うが、燃料の確保については、どのように考えているのか。市として、指針や指導などをどう考えているか。

【竹田次長】

燃料は、業者が確保することとなるが、昨今のような大雪になった場合や警報等が出て、大雪が見込まれる状況となった場合には、市の石油協同組合に事前に配送を要請することとしており、降雪の状況によって対応していく。

【藤田会長】

他に質問がなければ、続いて、「3区中学校統合の進捗状況について」、教育・文化グループから説明をお願いします。

【大橋次長】

(資料に沿って説明)

後援会部会の藤田会長と校名・校歌・校章部会の宮川委員から補足があればお願いします。

【藤田会長】

後援会部会について、部会長の村松さんは浦川原小学校後援会の会長であり、記念事業も含めてスムーズに進めることができたと思っている。具体的には、浦川原小学校に統合する際、「統合前の3つの小学校の同窓会はどうなるのか」ともめた経緯があった。その時の案として、「同窓会は廃止して後援会とし、統合後の学校で全ての同窓会資料を金庫に保管し、いつでも活用できるようにする」という申し合わせをした。この部分については、皆さんから了解していただいているところであり、今後も円滑に進んでいくものと思われる。

宮川委員から何かあるか。

【宮川委員】

私から校名案の絞り込みについて報告する。9月28日に開催した第1回部会で、応募のあった75件から7件を選定し、11月25日の第2回部会で更に3つに絞り込んだ。アン

ケート結果を見ると、子どもたちからは、地域名や歴史を表す内容の校名ではなく、斬新な新しい校名がたくさん出ていた。大人からは、地元や地域に馴染んだ名称が使われた校名が出されていた。選ぶ側としては、かなり悩んで、3校に絞り込んだということをお伝えする。

【藤田会長】

今ほどの報告について、質問や意見があればお願いします。

【北澤誠委員】

他県の話であるが、校名を決める際に1票しかない名前に決定して問題になっている事例がある。会議は非公開となっているが、校名が決定した段階で、その名前に決定した経緯などを教えていただけるのか。

【佐藤所長】

今回の校名・校歌・校章部会では、住民の意見なども加味して選定しており、選定に至る経緯などは委員の皆さんの意思を統一し、確認しながら進めていると思っている。

【北澤誠委員】

了解した。地域と無関係な名前など、とんでもない名前に決めて、後々問題とならないようにしていただきたい。

【佐藤所長】

補足になるが、校名には7つの候補があり、広報上越10月号にあわせて配布した校名候補のアンケートに記載した名前から選ばれている。また、校名の由来や意味なども記載されており、第2回部会においても確認しているため、これらを踏まえて選定理由などをたよりの中で報告することになると思っている。

【北澤誠委員】

もう一点、浦川原小学校への統合の際、学校備品を購入する予算がなく、翌年に持ち越したという記憶があるので、そういった部分もきちんと検討していただきたい。

【佐藤所長】

令和6年4月の統合に向けて、現在、来年度予算の検討をしている。校舎の改修などが必要なほか、備品等についても、8月以降、3区の教育・文化グループや学校の先生方が集まって、こういったものが必要なのか協議している。

【藤田会長】

他に質問がなければ、「浦川原区町内会長連絡協議会情報交換会において配付した資料について」、事務局から説明をお願いします。

【大橋次長】

(資料3に沿って説明)

【藤田会長】

今ほどの説明について、質問や意見があればお願いします。

民生委員の代表責任者は決まっているのか。

【市民生活・福祉グループ石川グループ長】

今回の民生委員・児童委員の任期は12月1日からとなっており、主任児童委員の村松さんに会長をお願いする予定となっている。

【池田副会長】

民生委員・児童委員の具体的な仕事内容を、あまり承知しておらず申し訳ないが、以前、ある女性の民生委員が、生活保護を受けている方の個人情報などを他人に吹聴している場面に出くわしたことがあり、非常にまずいのではないかと思った。他の民生委員・児童委員の皆さんはしっかりしている方であると思っているが、行政の指導を徹底していただきたい。

【市民生活・福祉グループ石川グループ長】

そういった事がないようにこれまでも話をしているが、区の定例会で改めて話をする事とする。

【藤田会長】

他に質問がなければ、続いて「3 協議」に移る。「(1) 自主的審議事項の検討について」、今までの検討内容と今後の予定も含めて、AグループとBグループの状況を報告する。まず、Aグループについて、池田副会長から報告をお願いします。

【池田副会長】

11月8日に開催したグループワークの資料を本日配付した。「地域の団体からみた浦川原区の課題」について、うらがわらスポーツクラブ・浦川原商工会・町内会長連絡協議会の3団体からお聞きした内容をまとめたので、各自お読みいただきたい。今後の予定については、12月7日水曜日にグループワークを開催する予定である。

Aグループは、今まで協議してきたことをどうすれば具現化できるのか検討し、取り組んでいきたい。もう一つの検討テーマである「文化の伝承」については、北澤正彦委員が関係者と連絡を取って進めている状況である。

【藤田会長】

今ほどの説明について、質問や意見があればお願いします。

【村松副会長】

「浦川原区の誇れるもの（人・物・史跡等）」について、今年度「地域のお宝」として「飯室雅楽」と「雁金城跡」が認定されているが、資料には「雁金城跡」の記載がないため、追加した方が良くと思う。

【藤田会長】

他にないか。資料には、「浦川原区の課題」として、「人口減少対策」や「過疎化・高齢化対策」、「地域資源の活用・活性化」とあるが、具体的にはどのように進めていくのか。

【池田副会長】

具体的な進め方については、12月7日のグループワークで協議することになっているため、今は具体的な内容を言える段階ではない。

【藤田会長】

続いて、Bグループは、私から報告させていただく。

高齢者の交通手段について、一人でも困っている人がいれば手を差し伸べることとし、どのような交通手段が考えられるのか、検討を進めてきた。しかし、浦川原区全戸を対象としたアンケート調査の結果、回答数が少なかったことと、安塚区と牧区で実施されている予約型コミュニティバスの実証運行の結果を見てから、令和6年度・7年度に向けての検討課題として考えていこうと思っている。なお、アンケートに連絡先を記載していただいた方については、礼状を郵送した。

また、ほくほく線の利用促進について、市へ意見書を提出する予定であり、上越妙高駅へのほくほく線の乗り入れ数と黒井駅への停車本数を多くすることや物品販売について、私がたたき台を作成することとなっている。

もう一点、駅舎を活用した駅舎周辺の活性化に向けてどうしていくかである。ほくほく線の利用促進も含めて考えており、NPO法人夢あふれるまち浦川原が立案し、実際に実務をしていただく方々の組織づくりも含めて、令和5年度にかけて進めていかなければならないと思っている。次回は、12月6日火曜日にグループワークを開催する予定で、市長へ提出する意見書案を改めて皆さんから審議していただきたい。

今ほどの説明について、質問や意見があればお願いします。

質問がなければ、続いて「(2)『地域活性化の方向性』の検討について」に移る。市からの依頼を受け、「活性化の方向性」の作成に着手することとしたい。現在、A・Bグループに分かれて自主的審議事項の検討を進めており、事務局からたたき台を作成してもらったので、説明をお願いします。

【総務・地域振興グループ北澤班長】

(資料4に沿って説明)

【藤田会長】

今ほどの説明について、質問や意見があればお願いします。

資料の「構成要素」は漠然としている感じがする。現在、我々が検討している内容と合致する部分はあるのか。

【総務・地域振興グループ北澤班長】

資料に記載している内容は、素案として直近のA・Bグループの話合いの状況から抜粋したものである。それぞれのグループで、この部分をより具体的に細かく、分野を絞っていただきたい。

【藤田会長】

素案ということであるが、「若者・子育て世代に向けた取組の実施」とある。これは地域協議会の仕事なのか。

【総務・地域振興グループ北澤班長】

Aグループのテーマとなっていることから記載した。今後、Aグループの話合いによって決まっていくものである。あくまで、現時点のA・Bグループのテーマを記載したものになっている。

【藤田会長】

それでは、「子どもたちにとって望ましい教育環境（小学校の在り方）の検討」とあるのは、現在進めている中学校の統合が終わったら、小学校の統合について検討するという含みがあるのか。

【総務・地域振興グループ北澤班長】

Bグループのグループワークで、「中学校は統合に向けて進んでいるため、小学校についても統合に向けて進めていかなければならない」という話があったことから入れたものである。この資料は完成形ではないので、今後、皆さんから検討していただき、遅くとも来年の9月までに完成していただきたいと思う。

【杉田委員】

浦川原区の地域活性化に向けて、「浦川原区の〇〇を活かして〇〇なまちを目指します」という部分と「構成要素」の各項目も含めて、今後、我々が検討していく中で完成させていくという認識で良いか。

私としては、3団体から出された課題がまとまったため、12月7日に今後の進め方をど

うしていくか検討していくことになり、その結果によっては、藤田会長の言われるように、地域協議会で扱うべきものなのかを考えなければならないと思う。

その結果として、資料の「構成要素」へ盛り込むべきかどうかを判断することになるのではないかと考える。

【総務・地域振興グループ北澤班長】

そのとおりである。

【藤田会長】

他に質問がなければ、続いて「4 その他」に移る。市から連絡事項があるため、事務局から説明をお願いします。

【産業グループ山本グループ長】

浦川原霧ヶ岳温泉ゆあみについて、施設の廃止に関する諮問とサウンディング型市場調査の進捗状況について説明させていただく。

霧ヶ岳温泉ゆあみは、第4次上越市公の施設の適正配置計画において、「平成29年から休止しており、温浴施設としての利用が見込めないことから、補助金の処分要件を精査し、廃止する」としている。補助金の処分要件に問題がないことから、計画のとおり令和4年度末をもって施設を廃止することとし、次回12月の地域協議会において施設廃止の諮問を行いたいと考えているのでよろしくお願いします。

なお、9月の地域協議会において、市が所有する日帰り・宿泊温浴施設について、ゆあみも含めてサウンディング型市場調査を行うことを説明させていただいた。この調査の現在の状況を報告させていただく。

10月13日に上越文化会館で、調査の事前説明会を開催し、民間の事業所10社が参加した。また、現地見学会は11月25日まで実施し、実際にゆあみを見学した会社もあったが、ゆあみだけを目的に見学に来たのではなく、他の施設にあわせて見学されたという印象であった。なお、サウンディング型市場調査における実際の提案はこれからであり、調査に影響を及ぼす可能性があるため、具体的に見学された会社数や事業所名は控えさせていただきたい。

【総務・地域振興グループ北澤班長】

次に、令和5年上越市新年祝賀会について、本日お配りした資料をご覧ください。

令和5年1月4日水曜日、午前11時からリージョンプラザ上越を会場に「上越市新年祝賀会」を開催する。参加を希望される委員は、12月14日までに申込書に必要事項を記入し、会費700円を添えて、総合事務所の総務・地域振興グループへ提出いただきたい。ま

た、例年どおり、総合事務所から会場まで送迎バスを運行することとなっているため、ご利用いただきたい。

続いて、男女共同参画センター主催の「自分磨き応援講座」について、興味のある方は直接「ウイズじょうえつ」へ申込みをお願いします。

続いて、上越地域学校教育支援センターが発行している「地域教育往来58号」について、委員の皆さんへの配付依頼があった。上越地区の学校と地域が連携して行っている教育活動が紹介されているので、ぜひご覧いただきたい。

最後に、地域活動支援事業の進捗状況について報告させていただく。

NPO法人夢あふれるまち浦川原による「和山・観音堂トレッキングコース整備促進事業」について、事業完了日を当初予定の10月31日から11月30日に変更することを、前回の地域協議会で報告させていただいたが、その後、同団体から「トレッキングコースの整備は11月末に完了する見込みだが、パンフレットの作成に時間を要していることから、事業完了日を延長したい」との相談を受けた。

申請時の事業完了日を1か月以上超える場合は「変更承認申請」が必要となり、所定の手続を行うこととなる。なお、今回の変更に伴う事業の目的達成や効果に影響はないと判断されるため、地域協議会への協議は不要とし、事後の報告となることをあらかじめご了承ください。

【藤田会長】

今ほどの説明について、質問や意見があればお願いします。

質問がなければ、委員の皆さんから他に何かあるか。

【北澤誠委員】

浦川原運動広場について、除却は全て終わっていると思うが、借地は全て返却して終了となるのか。

【佐藤所長】

返却して終わりではなく、来年度以降の活用について検討しているところであるが、具体的にどうするということまでは決まっていない。なお、一体的な土地として、維持管理は市が実施していくこととしている。

【藤田会長】

他にないか。

ないようなので、「5 次回の会議日程」について、12月21日水曜日、午後6時から浦川原コミュニティプラザで行う。

これで、第8回浦川原区地域協議会を閉会する。

9 問合せ先

浦川原区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 025-599-2301 (内線 305)

E-mail : uragawara-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も合わせてご覧ください。